

### 調布駅前広場の公衆トイレの維持管理と公共交通について問う



榎原登志子 (立憲民主党)



**問** 調布駅前立地し、様々な機能を担うことが期待され、整備が進められている調布駅前広場の公衆トイレ建設について①女性や、高齢者・障害者の視点を取り入れるのか②いつでも快適に利用できることが重要であり、ごみのないきれいな状態を長く維持するため、どのようなトイレとしていくのか。

**環境部長** ①整備方針定め、公衆トイレの基本性能備えつつバリアフリー化やユニバーサルデザイン採用②清潔さ持続のため、使用済おむつ等を廃棄できるサニタリーボックス設置。清掃しやすい水洗いできる床材とする。

**問** トイレ建設後、清潔な状態を長く保つため、維持管理をどのように行うのか。

**環境部長** 施設内への家庭ごみ放置が問題。注目集まる渋谷区公衆トイレ清掃事業者から助言受け維持管理方法の検討を進める。

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響や要員不足、燃料費の高騰など、バス運行事業者を取り巻く厳しい現状に対する認識は。

**市長** バス事業者との課題共有や、今後の取組に向けた連携強化が重要であると認識。

**問** 北部地域デマンド型交通実証実験について①導入までの経緯と目的は②運行概要と、運行



調布駅前広場のトイレと調布市の公共交通

から半年が経過した現在の利用状況と取組は③市が認識している運行後の課題は。

**外交部長** ①ミニバス北路線減便を契機とし、地域に適した移動手段の検証等を目的として運行②延べ利用者数約700人、1日平均4人。80歳代利用者が多い等の傾向を把握③地域公共交通の課題解決に向け、きめ細かなニーズ把握が必要。福祉部門との連携やアンケート調査等実施

### いのちの心の教育、教科書バリアフリー法改正、自殺予防教育について



松野 英夫 (公明党)



**問** 児童・生徒が自他の生命を尊重する心情や生命に対する畏敬の念を育む機会について、どのように取り組んできたか。

**教育長** 毎年12月をいのちと心の教育月間と定め、校長や外部講師による講話や、命に関するスローガンを設定する等、学校ごとに工夫した活動を展開。

**問** 他市では、中学生が授業で赤ちゃんやその家族と触れ合う体験を通じて豊かな人間性を育む「赤ちゃんふれあい事業」を実施している。市は、このような、いのちと心の教育を検討しているのか。

**教育部長** 妊産婦との交流事業

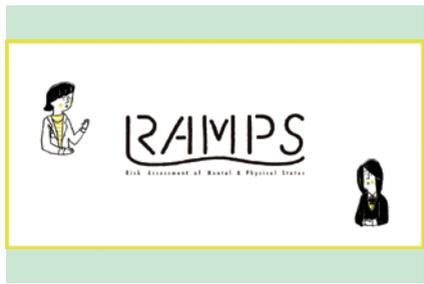
など、命の尊さを学ぶ有効な取組について、定例校長会等を通じて各学校へ周知し、支援する。

**問** 教科書バリアフリー法改正に伴い、外国人児童・生徒も音声教材を使用する法的環境が整った。市は、音声教材の普及を検討しているのか。

**教育部長** 法律の改正を踏まえ、支援が必要な外国籍児童・生徒に対し、適切に音声教材を提供できるように対応していく。

**問** 学校の長期休業明けにかけて児童・生徒の自殺者が増加する傾向。市では、自殺予防教育をどのように展開しているのか。

**教育部長** 現在または今後起こ



ITツール「RAMPS (ランプス)」

り得る危機的状況に対応するため、SOSの出し方の教育を全小・中学校で実施。いじめ防止教育や薬物乱用防止教育等とも連動した取組推進を学校に依頼。

**問** 児童・生徒の心の危機を教職員らが把握するのに有効なITツール導入は。

**教育部長** 1人1台学習用端末に設定しているグループアプリ等ICTツールも活用しつつアンケート調査や教育相談等実施

### 共に学ぶ学校・多様な学びを応援する学校と校舎断熱化を



木下 安子 (生活者ネットワーク)



**問** インクルーシブ教育システムは同じ場で共に学ぶ教育の追求を基本とし、ニーズに合わせた学びの場に連続性あることが前提だが、実質的には分離教育が進んでいる。共生の充実を目指す市は共に学ぶ教育の追求を。

**教育長** 全ての子どもに個別配慮された学びの保障を目指し、全ての学びの場での特別支援教育の充実によりインクルーシブ教育システムを推進。通常学級と特別支援学級等の交流等を通じて学び、生きる社会を目指す。

**問** 子どもを分離・個別指導する前に教室の環境改善を。インクルーシブな環境をつくるため、

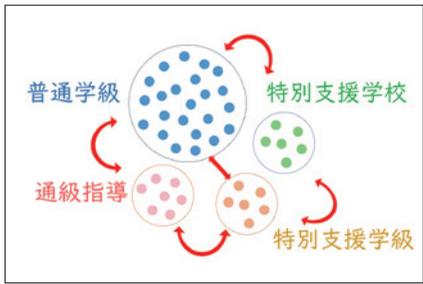
学校作業療法士の更なる配置を。

**教育部長** 全ての子どもが安心して過ごせる環境は重要と認識。作業療法士等の派遣で一人一人に合わせた指導や支援を充実。

**問** はしうち教室は従来の教育課程にとられない独自の教育が認められている。市の不登校対策拠点校として、生徒の多様な学びを応援する体制強化を。

**教育部長** 小集団学級や授業時数削減、独自の教科設定を行う。フリースクール等研究し一人一人の学習の差や個性に応じ十分な教育受けられるよう取り組む。

**問** はしうち教室における特別支援教育や合理的配慮の視点は、



個々のニーズに合わせた学びの場に連続性がなければ分離教育に

**教育部長** 個別指導計画を作成。特別支援教育の研修動画も活用。

**問** 温暖化により、ガスエアコン導入の小・中学校のCO2排出量は増加。校舎は断熱性能に課題があるため、環境学習として断熱ワークショップの実施を。

**教育部長** 5年度夏季エアコン使用量は元年度比約2倍でCO2排出量増加が課題。建物断熱化は温暖化対策の一つと認識。断熱ワークショップを調査研究。

### 安心して自分自身が望む人生のしまい方を迎えるために



川畑 英樹 (立憲民主党)



**問** 超高齢社会の現状及び課題の認識と具体的な取組は。

**市長** 市の高齢者数は5万2千人超。認知症等増加に対応するため体制の強化が必要と認識。

**問** 多摩地区及び市での孤独死の状況の把握は。

**福祉参事** 多摩地区は死者数や死因等が非公表のため把握困難。

**問** 市の高齢者の孤独・孤立の捉え方は。孤独死を防ぐ取組は。

**福祉参事** 誰にでも生じ得るものと認識。平成16年度から見守りネットワーク事業を実施。

**問** 無縁遺骨9割以上は身元判明も引取手ない。市の現状は。

**福祉参事** 身元判明も引取先のない死亡人は5年度は11人。

**問** 市において、身寄りのない方が亡くなり、誰も葬儀をする人がいない場合の手順や費用は。

**福祉参事** 市が火葬後、納骨。遺留金がある場合は葬祭費に充て、不足額を市が支払う。

**問** 調布市版エンディングノートである「じぶんノート」の記入講習会や終活への意識づけは。

**福祉参事** ノートの書き方や終活全般の知識を深めてもらうため、民間企業や司法書士等が行う講座への後援等を通じて支援。

**問** 横須賀市には元気なうちに市に情報登録し、亡くなった場合等に、指定した人に情報開示



出典：横須賀市終活パンフレット

する制度がある。市民が安心して終末期を迎えるため、トラブルに巻き込まれないためにも、終活登録制度や死後事務委任制度の導入検討を。また、終活に悩む方へ定期的な相談会開催を。

**福祉参事** 高齢期を迎えても安心して暮らし続けることができ、死後に生じ得る契約不履行などへの不安が解消できるよう、他自治体の取組も参考に既存事業の拡充も含め、関係機関と協議。

### 用語の解説

「一般質問の要旨」の※印の用語解説です

#### 東京都市町村総合交付金

都内の市町村が実施する各種施策に要する経費の財源補完を通じて、市町村の経営努力を促進し、自主性・自立性の向上に資するとともに、地域の振興を図り、もって市町村の行政水準の向上と住民福祉の増進を図るため、都から市町村に交付される交付金。

#### ゼロカーボンシティ宣言

脱炭素社会の実現に向け二酸化炭素の排出を2050年までに実質ゼロにすることを自治体が表明すること。市と市議会は地球環境を良好な状態で次世代に残すため、3年4月に共同で宣言した。フェーズフリー

身の回りにあるモノやサービスを、日常はもちろん、非常時にも役立てることができるようにするという考え方。

**デジタルディバイド** インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。

**DX** デジタルトランスフォーメーション。ICT(情報通信技術)の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

**調布市子ども・若者総合支援事業(こあ)** 子ども・若者が家庭の事情などで進学や就職を諦めることのないよう、相談や居場所の提供、学習支援を行う事業。

**デマンド型交通** 定時・定路線のバス運行に対して、利用者からの予約に応じて運行する公共交通の一つの形態。